

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

(実施期間：平成 27～令和 2 年度)

実施機関：琉球大学（総括責任者：西田 睦）

取組の概要

女性研究者確保に係る採用や昇任の人事プロセスを改革することにより、女性研究者の在職比率を目標値まで引上げ、女性研究者がその能力を最大限に発揮し、活躍できる研究環境の拡充に務める。

また、平成 27 年 4 月に発足したダイバーシティ推進体制においてジェンダー協働推進室を運営主体に、ライフイベント中の女性研究者を支援する研究支援員の配置、外部資金の獲得や研究の国際通用性を高めるセミナーの開設や研究専念制度の実施など、在職する女性研究者の研究力を向上させる取組を実施する。加えて、研究や大学運営において女性がリーダーシップを発揮できる環境を整備し、研究プロジェクトや役員・管理職等における女性比率を向上させる。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

首都圏とは異なる立地環境の中、学長のリーダーシップの下、全学で事業の推進に取り組み、女性研究者の活躍促進に資する、研究環境整備、積極的な採用、上位職への登用、次世代育成の取組を総合的に進めたことは評価できる。教員の「女性限定公募」を全学に浸透させ、若手女性教員のみならず大学病院や工学部においては部局初の女性教授を誕生させた。また、「短期研究専念制度」、「英語によるリーダーシップ研修」等の先進的な取組により女性研究者の研究力を大幅に向上させるとともに、「女子大学院生グローバル人材育成事業」等の取組により自然科学系分野の大学院博士後期課程へ進学する女子学生を大幅に増加させた。今後は、指導的立場に立つ女性研究者の育成を進め、大学執行部や教授の女性比率を向上させることを期待する。

- ・ **目標達成度**：「女性限定公募」等の積極的な実施により、女性研究者採用比率、女性研究者在職比率に係る目標を上回り達成したことは評価できる。今後は、教授や役員への女性の登用を更に進めることを期待する。
- ・ **取組**：「自然科学系分野における女性教授限定公募」、「短期研究専念制度」、「英語によるリーダーシップ研修」、「女性研究者支援研究費（グループ研究）」、「介護帰省費用補助事業」等、特色ある先進的な取組を実施し、女性教授の採用、科研費新規採択率の向上といった成果に繋がったことは評価できる。
- ・ **取組の成果**：「自然科学系分野における女性教授限定公募」の取組により、大学病院、工学部、理学部で女性教授が採用され、特に大学病院、工学部で部局初の女性教授が誕生したことは評価できる。また、「女性研究者支援研究費（グループ研究）」の支援を受けた女性教員の昇任、

女性研究者の科研費新規採択率の倍増、大学院博士後期課程における女子学生比率の30%以上への大幅増加等の成果が挙げられた。

- **実施体制**：ダイバーシティ推進担当理事を本部長とする学長直属の「ダイバーシティ推進本部」を設置し、その下部組織である「ジェンダー協働推進室」が事業実施母体となり、「研究推進機構」や「SDGs推進室」等の学内部署や部局と連携を図りながら全学で事業を進めたことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：「琉球大学の中期将来ビジョン」に、女性研究者の上位職登用、次世代育成の方針を明記するとともに、自主経費や「琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金」の創設により財源を確保し、取組を継続、発展させる計画であり評価できる。